

岡本さん(前列中央)から縁起物の「受験応援ペットボトル」を贈られ、笑顔の3年生たち(輪島市三井中)



受験の時 “三井中応援”

トキの野生復帰を目指して啓蒙活動が続ける市民団体「いしかわトキ能里の会」代表の岡本孝二さん(左)が、輪島市三井中学校の3年生9人に「受験応援ペットボトル」を贈り、同校で20日、贈呈式があった。(松浦晴行)

岡本さんによると、輪島でトキが生息していたことでは一九五六(昭和三十)を知ってもらおうと昨年七月から九月まで、トキに関連した写真集を制作し、同校がある三井中地区で、トキの姿が写真集の交流が始まった。同校は市内の三井中学校の

能里の会 岡本さん縁起物のボトル贈る

統合に伴い、二月末で閉校する最後の卒業生の高校受験を応援しようと、写真集などを届けた際、縁起物のプレゼントを約束していた。岡本さんは県内私立高校の受験日前日のこの日、生徒と同会、合格にちなんで正五角形(二辺六・五センチ)の厚紙に、トキの絵や「飛翔 トキ ベストで試験の時(トキ)を(2014)」「必勝 合格」などご祝いの言葉を添ったペットボトルに貼った縁起物で、「志望校と縁がきますように」という願いも込め、五円玉を五枚ずつ手渡しした。

昨年八月の少年の主張輪島大会で「トキのいた里」のテーマで発表し、最優秀賞に輝いた赤木君さんが「岡本さんの温かい気持ちと心を支えに頑張ります」とお礼を述べた。

閉校の受験生にお守り

トキ能里の会 輪島・三井中へ

トキ保護の啓蒙活動を行っている「いしかわトキ能里の会」の岡本孝二代表(89)が30日、3月で閉校になる輪島市三井中を訪れ、3年生9人に「合格応援ペットボトル」を手渡した。ペットボトルには、羽ばたかされた五角形のお守りが貼られている。中には五円玉(ご縁)を入れ、31日に行われる私立高の一般入試合格を祈願した。岡本さんは19



応援ペットボトルを手渡す岡本さん(輪島市三井中)

56年に同市でトキの生息が確認されたことや市の鳥がトキであることから、昨年7月に同中へ関連図書を寄贈するなど交流を続けてきた。岡本さんは「最後の卒業生として有終の美を飾り、未来へと羽ばたいてほしい」と話した。